

所属名	事務事業名	ページ番号
都市政策課	立地適正化計画策定事業	2
都市政策課	空き家等対策事業	3
都市政策課	都市計画マスタープラン策定経費	4
都市政策課	都市計画策定事業	5

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	立地適正化計画策定事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	福田 秀典
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	生活利便性・安全性の高いエリアへの居住を誘導するとともに、各種生活サービス施設を中心市街地や駅周辺等の「まちなか」へ計画的に誘導し、まちなかと居住地を公共交通で結ぶことで、将来にわたり持続可能な「都市機能集約型のまちづくり」、「地域拠点連携型のまちづくり」を目指す計画の策定。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	都市再生特別措置法第81条				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			24,238	13,902	
うち佐賀市の負担額			14,988	6,402	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
都市再生協議会開催回数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		2	3			
活動実績②					単位	
コンパクトシティ推進対策本部会議開催回数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		1	3			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>庁内・庁外の策定会議等を通して多角的な視点から立地適正化計画の検討・策定を行い、令和6年4月に公表した。</p>
---

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	空き家等対策事業	事業期間	平成 25 ~	年度
担当部署・係名	都市政策課 空き家対策室	担当課長名	福田 秀典	
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち		
	施策	暮らしに身近な生活環境の向上		
	基本事業	生活に密着した環境問題の改善		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	空き家等の適正な管理を図ることにより、空き家の倒壊並びに空き家等における火災及び犯罪を未然に防止し、もって市民の安全で安心な暮らしの実現及び良好な生活環境の保全に寄与する。				
事業の対象者	市民				
令和5年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○苦情相談を受けた危険な空き家等について、現地調査及び所有者調査を実施し、所有者（管理者）に適正管理を促す。</li> <li>○佐賀市空家等対策協議会（3回/年）の実施。</li> <li>○危険な状態の空き家（20件）に対して50万円を限度に除却費の一部を助成。</li> <li>○命令措置期限内に危険が除去されなかった空き家（1件）について、行政代執行を実施。</li> <li>○空き家等情報登録制度の実施。</li> <li>○空き家無料相談会（2回/年）の実施。</li> <li>○空き家問題講演会（1回/年）の実施。</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,937	10,915	16,521	25,426	
うち佐賀市の負担額	11,937	10,915	13,059	21,820	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
苦情対応件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
409	300 369	300 426	300 323	300		

成果指標②						単位
空き家解体費助成件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11	14 12	15 18	15 20	15		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	<p>苦情対応件数は前年度よりも減少したが、目標値を上回った。</p> <p>空き家解体費助成件数については、予算措置件数以上の申請があり、予算額を全て執行する結果となった。</p> <p>社会情勢として、空き家は益々増加が見込まれることから、危険な空き家の解体だけでなく、危険な状態になる前段階からの対策が必要と思われる。</p>



成果目標達成に向けた対応策等
<p>空き家等対策事業においては、相談支援窓口の開設及びリフォーム助成等を新たに実施することで、空き家の利活用を推進する予定である。</p> <p>具体的には、令和6年度からの新規事業としてフィージビリティスタディ（活用可能性診断）や空き家リフォーム、面的対策についての新たな助成制度をはじめ、空家等利活用相談支援窓口を設置予定である。</p>

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	都市計画マスタープラン策定経費	事業期間	令和 5 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	福田 秀典
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	人口減少の進展や新型コロナウイルス感染症拡大による社会変容など、本市を取り巻く状況の変化や今後予想される社会・経済構造の変化等に対応し、まちの魅力を高め、賑わいあるまちを創造するとともに持続可能な都市づくりを実現するための本市における土地利用の最上位計画である佐賀市都市計画マスタープランを策定する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	都市計画法第18条の2				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額				13,065	
うち佐賀市の負担額				13,065	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
都市計画審議会開催回数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
			1			
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

様々な分野の専門家や公募により選出された市民などから構成される都市計画審議会で検討していくとともに、庁内関連部署へのヒアリングを通して多角的な視点から都市計画マスタープランを策定していく。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	都市計画策定事業	事業期間	平成 19 ~ 令和 年度
担当部署・係名	都市政策課 都市計画係	担当課長名	福田 秀典
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	計画的な土地利用の推進	
	基本事業	土地の有効利用の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	市民に対して都市計画に関する情報提供を円滑に行うため、市民向けGIS（庁内向けGISも対象）の都市計画図を現況に即した図面に更新する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	都市計画運用指針Ⅲ-2-6				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	407		479	532	
うち佐賀市の負担額	407		479	532	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
変更箇所数					箇所	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
2		2	2			
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

都市計画決定等により現況に即した図面に更新を行った。今後も都市計画の決定・変更があれば、速やかに更新を行う。
--